

Palette

総務省九州総合通信局広報誌「パレット」

2009.7
Vol.112

 **総務省**
Ministry of Internal Affairs and Communications

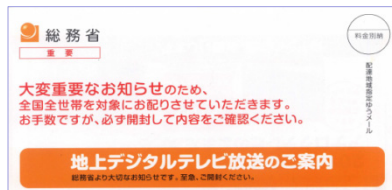
地上デジタル放送説明会スタート！ ～地デジのハテナ？にお答えします～

テレビ受信者支援センター（愛称：デジサポ）では、地上放送の2011年のデジタル完全移行にあたり、受信機器等のデジタル化対応において、より手厚い支援が必要と考えられる高齢者や障害者等に対して、その必要性や対応方法等についてきめ細かに説明、働きかけを行っていくため『高齢者・障害者等への働きかけ・サポート』事業として、6月から全国で高齢者等を対象に説明会や戸別訪問による説明をスタートし、九州においても、各県のデジサポで説明会を実施しています。7月に予定されている説明会は下表のとおりです。詳しくは、デジサポのホームページをご覧ください。

会場では、参加者からの質問にお答えしたり、地デジアドバイザーによる、個別相談も行っていますので、お近くで開催される地デジ説明会にぜひともご来場ください。入場は無料で事前予約の必要はありません。

2009年6月から2010年3月までの約10ヶ月間にわたり全市町村で開催する予定です。お近くの会場に参加をお願いします（開催の前月末までには、右のような封筒で案内をお送りします）。

【開催日時・場所等詳細はこちら】
デジサポホームページ <http://www.digisuppo.jp/>



【ご案内の封筒】

【地上デジタル放送に関する問い合わせ先】

総務省地デジコールセンター
0570-07-0101

【7月の説明会実施予定】

県	郡市区町村	会場数	県	郡市区町村	会場数
福岡県	福岡市城南区	5会場	宮崎県	西都市	5会場
	福岡市西区	25会場		木城町	1会場
	福岡市早良区	25会場		都農町	1会場
佐賀県	佐賀市	22会場		新富町	3会場
長崎県	諫早市	16会場		高鍋町	1会場
	阿蘇市	3会場		川南町	1会場
	阿蘇郡	7会場		清武町	1会場
	菊池郡	3会場		綾町	1会場
熊本県	上益城郡	7会場		国富町	1会場
	別府市	21会場	鹿児島県	鹿児島市	79会場



【説明会の様子】

地デジの準備には何が必要か？
地域の事情に即した、よりきめ細やかな説明を聞くことが出来ます。



【個別相談の様子】

可能な限り個別の相談にも応じます。

【お問合せ先】 デジタル放送受信者支援室 TEL096-326-7807

受信障害対策共聴施設等のデジタル化に向けて

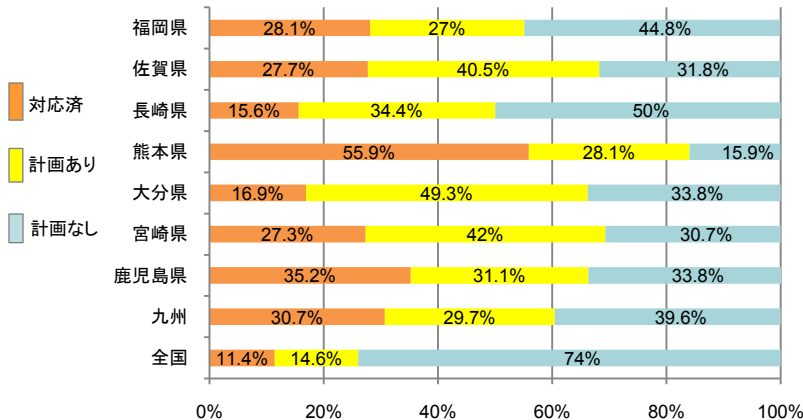
受信障害対策共聴施設のデジタル化対応状況

平成21年3月末における九州管内の受信障害対策共聴施設は約2,700施設であり、このうちデジタル化対応が確認された施設は834施設(30.7%)で全国平均11.4%に比べると対応は進んでいます。デジタル未対応の施設について早急な対応が必要です。

また、マンション等の集合住宅については約3割が未対応と推定されていますが、これらの対応も必要となります。

今後、デジタル未対応の共聴施設については、デジサポ(総務省テレビ受信者支援センター)を中心とするデジタル化促進活動を強化するとともに効率的・効果的な取り組みを実施していきます。

受信障害対策共聴施設の県別対応状況



	施設数	対応済	計画あり	計画なし
福岡県	1,717	483	464	770
佐賀県	148	41	60	47
長崎県	128	20	44	64
熊本県	270	151	76	43
大分県	71	12	35	24
宮崎県	88	24	37	27
鹿児島県	293	103	91	99
九州	2,715	834	807	1,074
全国	49,501	5,646	7,243	36,612

デジタル化対応に係る説明会等を開催

九州総合通信局では、上記のようなデジタル化対応状況等を踏まえ、九州管内20カ所において、「ビル陰、マンション等共同受信施設のデジタル化対応に係る説明会等」を開催します。

説明会では、地上デジタル放送を受信するために必要な改修や改修に係る国の支援制度等について説明する予定です。

なお、開催地は別表のとおりです。

参加費は無料ですが、事前の申込が必要ですので、詳しくはこちらをご覧ください。

【報道資料】

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kyushu/press/090617-4-1.html>

【お問合せ先】放送部 有線放送課 TEL096-326-7876

開催会場	月 日	開催会場	月 日
佐賀市会場	7月7日(火)	熊本市会場	7月28日(火)
長崎市会場	7月8日(水)	大牟田市会場	7月29日(水)
久留米市会場	7月9日(木)	宮崎市会場	7月30日(木)
八代市会場	7月10日(金)	福岡市会場	7月31日(金)
佐世保市会場	7月14日(火)	諫早市会場	8月4日(火)
大分市会場	7月15日(水)	飯塚市会場	8月5日(水)
鹿児島市会場	7月16日(木)	北九州市会場	8月6日(木)
薩摩川内市会場	7月17日(金)	別府市会場	8月11日(火)
春日市会場	7月22日(水)	鹿屋市会場	8月19日(水)
延岡市会場	7月24日(金)	奄美市会場	8月20日(木)

受信障害対策共聴施設・集合住宅デジタルの改修支援

総務省では受信障害対策共聴施設のデジタル改修支援制度として、①受信障害調査(補助率10/10)、②デジタル化施設改修経費(補助率1/2)を国が補助する制度を平成21年度に創設しました。

①・・・九州各県に設置されたデジサポが受信調査を行います。

②・・・総経費が「加入世帯数×3万5千円」の2倍以上の場合、総経費の半額を補助します。
(2倍未満の場合は総経費から加入世帯に3万5千円を乗じて得た額を差し引いた額の2倍を補助)
なお、総経費が「加入世帯数×3万5千円以下」の場合は補助対象外となります。

また、平成21年度の第1次補正予算において、集合住宅のデジタル化改修及びケーブルテレビへの移行についての一部補助、共聴施設の費用負担に関して第三者による相談対応やあっせん・調停等を行う紛争処理体制の整備等についても制度化され、その実施主体が決定されしだい募集を開始することとしています。

なお、上記の受信調査、施設改修経費支援の実務については、総務省テレビ受信者支援センター(デジサポ)が行い、平成21年5月11日から助成金の募集を開始しています。

詳しくは、デジサポへ <http://www.digisuppo.jp/index.php/infocenter/donations/>

みんなで守る電波のルール ～電波利用環境保護周知啓発強化期間の取り組み～

九州総合通信局では、「電波のルールを守りましょう」「みんなで守る電波のルール」をキャッチフレーズに、「電波利用環境保護周知啓発強化期間（6月1日から10日まで）」を中心に電波利用に関する周知・啓発活動を集中的・重点的に実施しました。

1 テレビ放送による広報

6月1日から10日まで、九州管内の民放テレビ放送事業者23社でCM放送を実施しました。教師（内山理名さん）が教壇に立ち「電波には免許が必要です！」「不法電波は犯罪です！」「技適マークを確認しましょう！」「電波はルールを守りましょう！」と電波のルールについて説明する内容で、視聴者の理解を深めました。

2 公共交通機関の中吊り及び駅貼りポスター広報

九州旅客鉄道(株)において、電車中吊りポスターを利用して車内広告をしました。また、九州旅客鉄道(株)の主要駅及び西鉄福岡(天神)駅構内にポスターを掲出し、周知啓発を図りました。

3 ポスター・リーフレット等により広報

国、地方公共団体、放送事業者及びトラック協会等にポスターの掲出とリーフレット等の配布を依頼しました。特に、「外国規格のトランシーバー(FRS, GMRS等)は国内で使用できません。」と説明し、注意喚起を促しました。

不法無線局によるテレビ・ラジオへの受信障害、携帯電話への通信妨害、さらに、消防・救急などの人命財産に関わる重要な通信に対する妨害など多数発生しています。電波はルールを守って使いましょう。



平成21年度啓発ポスター

【お問合せ先】電波監理部 電波利用環境課 TEL096-368-8683

坂本総務大臣政務官が 電波監視施設を視察

6月22日、坂本哲志総務大臣政務官が熊本市小峯にある電波監視施設を視察されました。



実は「電波監視」も総務省 ～電波監視施設見学会を開催～

九州総合通信局は、6月30日、電波監理部庁舎において、電波監視関係施設の見学会を実施しました。

当日は雨が降るあいにくの天気でしたが、朝早くから多くの方々が見学に訪れ、のべ147名が遠隔方位測定設備(デュラス)や監視車両等を見学しました。

見学会は、合計8回実施しましたが、その見学会の中では、監視用機器を手に記念写真を撮るアマチュア無線愛好家の方もみられました。

また、庁舎に隣接した高校から見学に訪れた生徒からは、「近くだが何の施設か知らなかった。」「電波監視を総務省がやっているとは知らなかった。」との発言もあり、今後もこのような場を設けて、もっとPRしていかなければいけないと感じた次第です。



【お問合せ先】電波監理部 調査課 TEL096-368-8621

「地球温暖化対策と ICT利活用セミナー」を開催

九州総合通信局は、(社)九州経済連合会及び(社)九州テレコム振興センターとの共催により、6月11日、福岡市(福岡国際会議場)において、「地球温暖化対策とICT利活用セミナー」を開催しました。

セミナーでは、最初に総務省情報通信国際戦略局の太ロイノベーション推進官から「ICTによる低炭素社会の実現を目指して」と題し、地球温暖化対策に関する総務省情報通信技術政策等の動向を、次に福岡市の砂田行政改革部長より、福岡市における情報化への取り組みと環境対策について、最後にNTTアドバンステクノロジ(株)の目黒主幹部長より、「ICTによる環境負荷の低減」と題して、ICTを利活用した省エネ施策の事例・効果等について、それぞれ講演を行いました。

セミナーには、当初予定していた定員(70名)を大幅に上回る121名の参加者があり、レイアウト変更を行ったことから、少し窮屈な座席配置となりましたが、参加者は熱心に聴講していました。また、今回のセミナーでは、ECOと



ということもあり、当日は紙ベースの資料配付を行いませんでしたが、翌日以降の講演資料(データ)請求も多数申し出があるなど、環境問題への関心の高さが伺えました。

【お問合せ先】情報通信部 情報通信連携推進課 TEL096-326-7314

無線ブロードバンド・利活用セミナーin新上五島町を開催

九州総合通信局は、情報通信月間期間の6月7日（日）、新上五島町、(社)九州経済連合会及び九州電波協会との共催で「無線ブロードバンド・利活用セミナー in 新上五島町」を長崎県新上五島町「鯨賓館ホール」にて開催しました。新上五島町井上町長の開催地挨拶の後、NPO法人「風ネット」副会長の大森陸雄氏により、「自分たちでつくる地域の『みまもりネット』」と題して、愛媛県内子町における「風ネット」の活動報告、地域の高速ネット網を住民の協力で作り上げた経験等を交え、地域におけるブロードバンドの必要性について講演されました。

続くパネル討論では、「～ブロードバンドは誰のためにあるのか～徹底討論」をテーマに、パネリストに「NPO法人 いろえんびつの家」原理事長、「NPO法人 つばきネット」近藤理事長、「新上五島町 まちづくり推進課 情報化推進室」竹内室長、「熊本県 地域振興部 情報企画課」島田情報企画監、「NPO法人 風ネット」大森副会長を迎えて、ブロードバンドの活用事例や地域からの情報発信の必要性などについて活発な意見交換がなされました。大森氏からは、「地域見守りシステム “100歳パソコン”」の住民モニター募集についての発言があり、会場からの発言では、今後も同様のセミナー開催の要望も出されました。



活発に意見交換されたパネル討論



「100歳パソコン」機器展示・デモの様子



新上五島町長 井上 俊昭

井上町長による開催地挨拶

また、ブロードバンドを活用したアプリを体験していただくため、セミナー開始前の時間を利用し「地域見守り100歳パソコン」及び「UD対応障害者在宅就労支援システム」の機器展示・デモを実施したところ、多くの来場者にご覧いただきました。

【お問合せ先】無線通信部 企画調整課 TEL096-326-7890

電波の安全性に関する展示を実施 ～日本医療情報学会学術大会(長崎)～

九州総合通信局は、医療関係者に電波の身体への影響について知っていただくために、長崎大学医学部において開催された第13回日本医療情報学会の春期学術大会（6月13日・14日）に説明ブースを設置しました。

大会には日本各地の大学医学部の教授や病院の医師等1000人が参加して、「無線通信技術の利用による医療情報ネットワークの高度化」など医療の情報化に関する多くの講演が行われました。

九州総合通信局の展示ブースでは、電磁過敏症の説明パネルや生体電磁環境研究推進委員会の報告書概要などを展示し、電波の身体や医療機器への影響についての研究結果等について延べ193名の方に説明いたしました。

参加者の関心は非常に高く、病院内での携帯電話の使用や医療機器に与える影響はないのかなどの質問の他、自治体や長崎市内の病院からは職員への講演に関する問い合わせをいただきました。



展示ブースで熱心に説明を聞く参加者

終了後、主催の大会長からは新しい試みとの謝辞をいただき、大変有意義なものとなりました。今後もこのような取り組みを継続してまいります。

【お問合せ先】電波監理部 電波利用環境課 TEL096-368-8683

「FMひびき」が開局 ～6月11日に北九州市若松区で～

九州総合通信局は、6月5日、AIR STATION HIBIKI(株)（以下「FMひびき」という。）に対して、コミュニティ放送局の免許を付与し、6月11日に福岡県北九州市若松区にコミュニティ放送局、「FMひびき」が開局しました。福岡県内では6局目の開局となります。



放送スタジオの様子

放送サービスエリアは北九州市若松区及び八幡西区の各一部で、周波数は88.2MHzです。

放送局の概要	
会社名等	AIR STATION HIBIKI(株)
周波数等	F8E 88.2MHz 20W
呼出符号等	JOZZ0BK-FM エフエムひびき
放送区域内世帯数	26,278世帯 (カバー率 19.2%)

「人と人とを結び街に響くラジオ」をコンセプトとして自社制作の生番組を中心に「響（北九州）」にこだわった地域密着の情報を放送しています。

【参考】コミュニティ放送局とは、市町村の一部を対象とする小規模のFM放送として、平成4年1月に制度化されたもので、地域に密着したきめ細かい情報の提供や福祉活動への利用、さらに防災情報伝達などに大きく役立つものとして期待が寄せられています。

【お問合せ先】放送部 放送課 TEL096-326-7871